

授業概要

管理会計は、経営者が組織や個人の業績評価を行うために有用な会計情報を提供する会計である。本講義は管理会計の基礎的な知識の習得を目的として行う。

本講義ではただ単に管理会計の技法を扱うだけでなく、管理会計が歴史的にどのように発展してきたのか、組織や経営の変化とどう関係にあるのかという観点も含めて説明する。できるだけ毎回講義に関する課題を課し、受講生の理解を深める予定である。なお、受講生の反応みて内容を変更することがある。

※Ⅰ期の管理会計論Ⅰと合わせて受講することを前提に授業計画を作成している。

授業計画

第 1 回	ガイダンス
第 2 回	管理会計の概要・意義について
第 3 回	原価について
第 4 回	原価計算について
第 5 回	ライフサイクル・コストニング
第 6 回	品質原価計算
第 7 回	差額原価・収益分析① 自製か購入かの意思決定
第 8 回	差額原価・収益分析② 特別注文可否の意思決定
第 9 回	予算管理① 予算とは
第 10 回	予算管理② 予算実績差異分析
第 11 回	組織と管理会計
第 12 回	事業部の業績評価
第 13 回	BSC
第 14 回	管理会計研究の最新の動向
第 15 回	まとめと復習
第 16 回	試験

到達目標

受講生はまず、管理会計の全体像を理解することができる。次に、具体的な管理会計手法を理論的および実践的に理解することで、企業経営における様々な意思決定とその方法を習得できる。

履修上の注意

春期の管理会計論Ⅰも合わせて受講することが望ましい。

予習復習

予習復習は各自必ず行うこと。

評価方法

期末試験によって評価する。講義中に行う課題も評価の対象とすることもある。

期末試験80%、課題等20%

テキスト

プリントを配布する